

請願審査報告

今定例会には3件の請願が提出され、6月議会で継続審査になっていた1件と合わせて審査しました。

各委員会における審査及び本会議における議決結果は以下のとおりでした。

■住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める請願

〔請願者 岩手県労働組合連合会議長 菅野 恒信 外1名〕

審議結果 不採択

■岩手県立遠野病院の縮小再編に反対し、医師確保をはじめとした病院機能の充実・強化を求める請願

〔請願者 岩手県医療局労働組合遠野病院支部 支部長 大久保 忠吉〕

審議結果 採択

■「品目横断的経営安定対策」の要件緩和を求める請願

〔請願者 遠野市農民組合代表者 阿部 喜一〕

審議結果 継続審査

■行き詰まったWTOに代わる、食糧主権にもとづく貿易ルールと農業・食糧政策の確立を求める請願

〔請願者 遠野市農民組合代表者 阿部 喜一〕

審議結果 継続審査

○請願の取り下げ

■「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願

(再提出があったため)

議員発議案

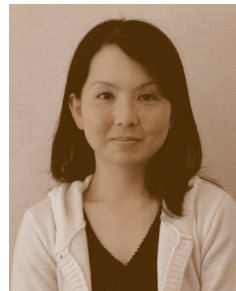
今定例会には、2件の発議案が提出され、原案のとおり可決しました。可決した意見書は以下のとおり。

■岩手県立遠野病院の縮小再編に反対し、医師確保をはじめとした病院機能の充実・強化を求める意見書

■トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書

意見書の送付

今定例会で可決した意見書2件は、平成18年9月29日付け、遠野市議会名で内閣総理大臣、厚生労働、国土交通各大臣、岩手県知事・医療局長あてに送付しました。



わたしのひとこと

遠野の魅力発掘を

佐藤亜紀さん（宮守町下鱒沢）

遠野に来て早くも半年。様々な活動を通し、今まで知らなかったことを知り、体験したからこそ理解でき、自分の“引き出し”が増えていくようで、勉強になる貴重な時を送っています。

今は、都会と農山村地域、それぞれの思い込みによって生じるマイナスをどうプラスに導いていくのかに興味を持っています。

今年接したもののしか知らない私にとっては、この1年で触れるもの全てが良くも悪くも遠野市の印象として残ります。去年こうだったから、自分達はこうだから「これでいい」ではなく「これがいい」とアピールできる遠野の魅力を、自分の視点で発掘していきたいと思っています。

12月定例会の予定

◆定例会は12月8日(金)開会の予定です。

詳しくは議会事務局まで。

○議会へのご意見、ご要望をお待ちしております。

議会事務局62-2111(内線271)

gikai@city.tono.iwate.jp

Information

編集後記

合併特例での任期は10月いっぱい。最後の定例会となった。財政難の中での引き継ぎとなる。それにしても耳慣れない字句が出てくる。市民協働・遠野スタイル・日本のふるさと遠野・ワーキンググループ、そして10月人事異動での「地域経営改革担当」の登場。簡潔で分かり易いことが望まれる。市役所は主人公である市民をお世話する所なのだ。「行政改革」の言葉は一切使わずに、市政運営の改善策を次々に打ち出せばいいのだ。

あれもこれも「薔薇色予算」から、いわゆる「ダイエツト予算」での健康保持が重要だ。財源不足をよく市民に説明して、更に地域づくりの充実に取り組もうと訴えることだ。「協働」の言葉は不要とも言える。

議会は、合併後初の選挙による22人にバトンタッチとなる。年度内には宮守町にケーブルテレビが拡張され、情報の共有化が進む。文字による議会広報充実にも期待がかかる。(初)